



学校法人 城西大学

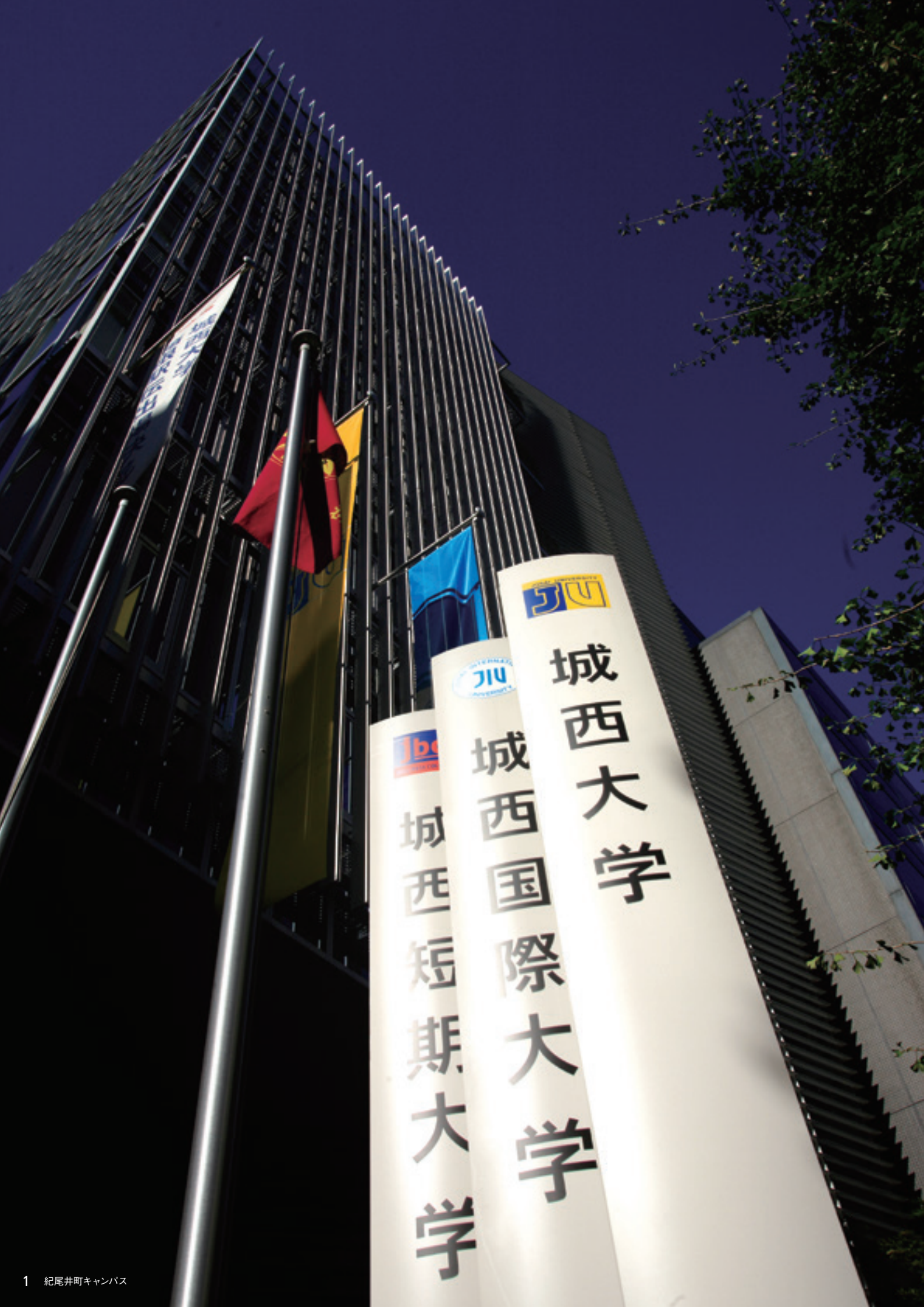
JOSAI UNIVERSITY EDUCATIONAL CORPORATION

JOSAI UNIVERSITY

JOSAI INTERNATIONAL UNIVERSITY

JOSAI BASE COLLEGE





「学ぶ力」の大切さを身につけて

1965年に水田三喜男先生によって創立された学校法人城西大学は、城西大学、城西国際大学、城西短期大学の3つの大学を有し、埼玉県坂戸市、千葉県東金市・鴨川市、東京紀尾井町と首都圏横断的にキャンパスを展開する総合大学として、あらたなステージへの進化に取り組んでいます。

現在、大学を取り巻く社会は劇的な変革期にあり、グローバリゼーションとイノベーションが、あらゆる状況を大きく変化させました。多くの面で矛盾が生じ、環境、資源、格差、少子高齢化、社会保障、教育、モラル、民族対立等、解決が急がれる問題を挙げればきりがありません。

そうした厳しい問題に向き合い、解決への道筋を考えると、私は、着眼大局・着手小局という考え方を念頭に置くことにしています。この意味は、大きな時代の流れを掴んで、具体的なことから対処していくということです。

着眼大局。現在の大きな時代の流れを紐解くキーワードとしてグローバル化・生活者主権・第4次産業革命などがあると思います。第4次産業革命とは、18世紀末以降の水力や蒸気機関による工場の機械化である第1次産業革命、20世紀初頭の分業に基づく電力を用いた大量生産である第2次産業革命、1970年代初頭からの電子工学や情報技術を用いた一層のオートメーション化である第3次産業革命につづくもので、IoTやビッグデータ、AI（人工知能）による技術革新です。では、我々はこういう時代の流れに対して何をすべきか。着手小局。これに対する答えは、簡単なものではありません。しかし、私は、新しい領域へ挑戦する時の心構えとして、先人の経験や知恵から学ぶものがあると考えており、書物など先人が残したものが役立つことがあります。また他の人の意見を聴くことも大切でしょう。一人一人の人間の経験というものは、たかが知れています。世界の人口74億

人の中の一つの経験しか自分にはないのです。『武士道』の著者・新渡戸稲造は、「常識」とは他人の意見を聴くことであると述べています。異なる文化・価値観・宗教・民族の方々と交わることで多くのことを学べると思います。いろいろな方から学び、自分で考えて「仮説」を立て、「実行」して、「結果を検証」して、自分の新たな知見から学ぶことも大切です。学問でもスポーツでも、自分で努力して何かを掴む過程は同じではないでしょうか。ゆえに「明日の自分は、今日何を考え、どんな行動をとるかの結果である」と私は考えています。自分の人生は自らが設計し、実行に移し、その結果は自分自身の責任であり価値となります。

学生時代に偉大な先人や自分と異なる考えの方々と話し合い学び、様々な体験をすることは非常に貴重で、今後の人生に大きな影響を与えてくれると思います。

世界の各国から留学生が集う学校法人城西大学は、いろいろな出会いと学びの機会をきつと与えてくれることでしょう。これから21世紀を生き抜くための「学ぶ力」の大切さを本学で身につけてくれるよう願っています。

学校法人城西大学理事長

上原 明

Profile：1941年4月生まれ、東京都出身。1966年慶應義塾大学経済学部卒、日本電気入社、1977年大正製薬入社、1982年代表取締役社長、2011年大正製薬ホールディングス代表取締役会長兼社長、2013年大正製薬ホールディングス代表取締役社長（現任）

▼団体役員など——日本大衆薬工業協会会長（1997年5月～2001年4月）、世界大衆薬協会会長（1999年6月～2002年11月）、上原記念生命科学財団 理事長（2013年5月30日～）

▼大学関係——城西大学評議員（1979年1月～）・理事（1979年1月～）・理事長（2017年9月～）成蹊学園評議員（1988年3月～）・評議員会議長（2002年3月～2012年3月）・理事（1998年3月～）、慶應義塾評議員（1990年11月～）・理事（2006年11月～）



数字で見る JOSAI

学生数 **14,240**人

(傘下3大学合計、2018年5月現在)

学校法人城西大学開設

1965年

延べ卒業生総数

107,018人

(傘下3大学合計、2018年3月現在)

城西大学女子短期大学開設

1983年

城西国際大学開設

1992年

キャンパス総面積

593,400 m²

(東京ドーム約12.7個分、傘下3大学合計、2018年5月現在)



1,399人、27カ国・地域

図書館蔵書数

76万册

海外姊妹・提携校

外国人教員

176校 30カ国・地域

48人18力国・地域

女性教員

153人

博士号取得者

209人

(傘下3大学合計、2018年3月現在)





創立者水田三喜男について

1905年(明治38年)、千葉県安房郡に生まれ、安房中学から水戸高校を経て京都大学法学部卒。

学生時代は反戦・反軍の学生運動に参加するなど、新しい社会づくりのために情熱を燃やしました。1946年(昭和21年)に戦後初の衆議院選挙で初当選以来、30年にわたって、通産大臣、五度の大蔵大臣を歴任し、日本の経済復興と成長に尽力したことは高く評価されています。

一方、若き日に小学校の教壇に立って以来、「教育」に対する熱意と、「国をつくるためには、優秀で、人間としての魅力にあふれた人材を育てなければならない」との考えに立ち、義務教育費や文教施設費の国庫負担や私学助成の事業にも力を注ぎました。そして、1965年(昭和40年)4月に城西大学を創立し、その教育に対する夢を実現したのです。

水田三喜男が終生座右の銘としたのが、「偽らず、欺かず、^{へつり}誂わす」でした。城西大学は、学問・研究だけでなく、豊かな人間性を持ち、お互いが尊敬し合えるような人材を育成し、それによって希望ある未来のある国や社会を建設していこうという、水田三喜男の青年時代からの夢はJOSA Iの建学の理念である「学問による人間形成」とともに、3大学の礎となっています。

水田美術館

「水田コレクション」は、政治家で教育者である、学校法人城西大学の創立者・水田三喜男先生が蒐集した浮世絵を中心とする絵画200点余りからなります。1977年、水田家より本学に寄付いただきました。浮世絵の発生期から近代日本画に至るまでその発展過程を所蔵作品によってたどることができます。また、稀版画を含む9点の写楽作品を所蔵しております。

城西大学・城西短期大学、城西国際大学に水田美術館が設置され、収蔵品の公開や企画展などが開催され、学生の学びの場であるとともに地域の方々に親しんでいただける文化施設になっております。

「学問を通しての人間形成」を建学の精神として

創立者である水田三喜男が、城西大学の開学に際して語った言葉に「学問はそれ自体が目的ではなく、あくまでも人間形成の手段である。立派な人間によってのみ、立派な社会がつくられるのだから、現世のために、後世のために、国家社会の重荷に堪えられる人材の教育を天職として、挙学その責に任じたいと考え、この大学を創設したのである」というものがあります。

この精神は、城西大学、城西短期大学、城西国際大学においても変わりません。自立した個人であり、社会へ貢献する「人材」を育成することが、JOSAIの目指すところです。開学から50年、私たちを取り巻く社会は大きく変化していますが、人間形成と教育の原点は不変です。

JOSAIの教育力の主柱（教育の骨格）

そのため、JOSAIでは「学問を通しての人間形成、人格の陶冶」「社会に有為な人材の育成」という創立者の建学の理念を具体化し、21世紀の世界と日本社会が求める人材を送り出すために、次の4つを「教育力の主柱」（教育の骨格）として確立しています。

1. 高度な知識、技能を持つ職業人の育成

薬剤師、管理栄養士、社会福祉士、保育士、精神保健福祉士、介護福祉士、理学療法士、公認会計士、税理士、国内・総合旅行業務取扱管理者、ファイナンシャル・プランナー、システム・アドミニストレーターをはじめとする高度な資格を持つ職業人、大学院及び各研究所での勉学、研究を通しての知的専門職業人の育成

2. 社会人としての基礎力及び実務能力の育成

基礎的な社会常識と国際社会の中で生きる日本人としての教養、礼儀と公共性を身につけ、働く人間に必要な実務能力とコミュニケーション能力を持ち、文武両道の理念のもとでのスポーツと課外活動を推奨して、豊かな人間性と人間力を自ら育てていく志、自己開発の意志を育てる

3. 先端的な学際性、国際性を身につけた

リーダーシップを担う人材の育成

多様な学問分野や領域を横断する学際的学習プログラムと多角的な国際経験、異文化経験を通して、先端的な領域を開発し、問題への対応や意思決定をするリーダーに必要な素養である、創造力、イノベーション力、問題解決力、他者理解力と未来への想像力、知的好奇心、責任感と実践力、公共性を育成する

4. 地域に根ざし、産学民官の協同による地域の

産業、文化の振興に貢献する総合大学を目指す

産学民官の共同により、社会と結び、市民の要望に応じてゆく“地域と共にある”教育機関として、学生対象の教育機関から社会全体の教育機関への発展、社会の中で学生教育を行うシステム、そして地域社会への貢献を目指す

JOSAIの教育の目的を達成するために、私たちが**教育プログラムの3本柱**と呼ぶ、独自の「プロジェクト教育」、「フィールド教育」、「資格取得教育」を開発しています。

これらのプログラムを通して、学生が国内外の社会や共同体で、企業の現場で、実際に働き、また、多様な人々との協働経験を持ち、問題解決力、実践力、コミュニケーション力、自己開発力を養っていくことを目標としています。



学長メッセージ

未来社会への チャレンジャーを育てます

城西大学は1965年、東京オリンピックの翌年に創立した大学です。資格や就職など学生のニーズを意識した教育を進めつつも、建学の理念に立脚して、創立者が思い描いた戦後の復興とグローバル化を担う堅実な人材を育成して来ました。混沌として予測ができない未来社会で活躍するには、独自の視点を持って課題に果敢に取り組み、周囲を巻き込む能力が非常に重要になると思います。したがって、これから本学は創立50年を迎えた大学として、今後の日本社会の課題の解決に挑戦する、グローバルな視点を持つリーダー人材育成に存在感を示す大学にもなるべきだと思っています。

これまでも多くの実績を持つインターンシップ、地域との関わりを中心とした学びや海外姉妹校との連携教育にさらに力を入れ、学生が育った環境とは異なる価値観に触れる機会を提供することで、新しい自分の発見や学生の学びの意欲を刺激するつもりです。

そして、本学の特徴であるこのような地域と海外とのつながりや時代をリードするユニークな研究活動を活用して、学生に自ら判断するチャンスを与える教育プログラムを提供し、少し生意気だと思われるチャレンジングな学生を、大切に伸ばす環境整備を目指したいと思います。

城西大学 学長
白幡 晶

Profile: 東京大学大学院薬学系研究科博士課程修了。東京生化学研究所研究員。米国ペンシルバニア州立大学医学部メディカルセンター博士研究員などを経て城西大学薬学部助手。教授、薬学部長、副学長を経て2016年9月から学長。



「学ぶ姿勢」を身に着け 社会で羽ばたく人材に

城西国際大学は1992年の開学の初めから、千葉県の山武、東金、九十九里と鴨川の地域と共に歩み、8学部、6大学院研究科、それに留学生のための別科、社会人のためのシニアウェルネス大学を次々に創設して、キャンパスも東金、安房、そして東京紀尾井町の3キャンパスとなりました。このように本学は25年で大きく発展して、現在では千葉県で2番目の学生数を擁する総合大学となりました。

本学の母体である学校法人の創立者は、戦後日本の経済成長を指導した政治家・水田三喜男先生です。先生が終生座右の銘としたのが「偽らず、欺かず、^{へつら}詭わらず」でした。城西国際大学は、先生の教えに則り、学問・研究だけでなく、豊かな人間性を持ち、お互いが尊敬し合えるような人材を育成します。まさに、学問自体が目的ではなく豊かな人となること、すなわち「学問による人間形成」を建学の精神に掲げています。

本学の学生には「学ぶ姿勢」を身に着け、地域とグローバルの両面にわたって社会で羽ばたける人材になっていただきたいと考えています。イノベーションを引き起こすことが可能な考え方を、ここ城西国際大学で楽しく学び、身に付けていただきたいと心から願っています。我々教職員一同は、学生が在学中にその学年に応じたキャリア形成力をつけるべく、教育に力を注いでいきます。

城西国際大学 学長
杉林 堅次

Profile: 富山大学大学院薬学研究科薬学専攻(修士課程)修了。薬学博士(岐阜薬科大学)取得。米ミシガン大学、ユタ大学留学。講師、助教授などを経て城西大学薬学部教授。また、薬学部長、城西大学・城西国際大学副学長を歴任した後2017年4月城西国際大学学長。日本薬学会賞、Shukri Distinguished Keynote Lecture Award、日本動物実験代替法学会功労賞など授賞。





城西国際大学 看護学部実習棟



充実した学生支援

JOSAIでは、学生を支援するプログラムとして、創立者の名前を冠した水田三喜男奨学金制度をはじめ、経済支援特別給付奨学金、父母後援会や地元自治体からの人材育成支援制度など充実した奨学制度を有しています。

またグローバルな視野で物事を考え行動できる人材の育成を目指して、城西大学では「グローバルチャレンジ奨学金制度」を、城西国際大学では「水田国際奨学金制度」を用意。城西大学では、女性リーダーを育成するための研修プログラムである「女性リーダー育成奨励生制度」も設けています。

3つの大学、4つのキャンパスで展開する国際総合大学

JOSAIは、城西大学、城西短期大学、城西国際大学の3大学に、文系・理系を備える総合国際大学で、学際的な13学部19学科、2大学院10研究科、2別科を有し、首都圏に所在する4つのキャンパスに、合わせて約14,000名の在校生が学んでいます。

3大学のキャンパス合計面積は593,400㎡（東京ドーム約13個分）に及び、空間的な広がりにおいても、大学としての学問的な多様さにおいても、他大学とは一線を画した独自性とスケールを有しています。

学部・学科の制定に際しては、従来からある学問の枠組み（ディシプリン）に拠ることなく、時代の流れを捉え、新しい視点にたち、地域密着の国際総合大学として社会のニーズに応える人材の輩出を目指した教育を行ってまいりました。

学生が、在学中に専門知識と社会人としての視点を身につけ、卒業後にスペシャリストとなるための資格を取得できる教育を実現してきております。

2012年4月には城西国際大学に看護学部を、2016年4月には福祉総合学部（理学療法学科）を開設しました。どちらも1年次の海外研修が必修となっており、グローバルな視野を身につけた医療人の育成をめざします。

■ キャンパス、学部、大学院、教育・研修施設

学校法人 城西大学	
東京紀尾井町本部	法人本部 国際学術文化振興センター（JICPAS） 情報センター、就職センター、 入試センター、広報センター
城西大学	
埼玉県坂戸キャンパス	現代政策学部、経済学部、経営学部、 理学部、薬学部（5学部8学科）
東京紀尾井町キャンパス	大学院（4研究科8専攻課程） 別科
城西短期大学（ベースカレッジ）	
埼玉県坂戸キャンパス	ビジネス総合学科
東京紀尾井町キャンパス	

城西国際大学	
千葉県東金 キャンパス	経営情報学部、国際人文学部（国際文化 学科・国際交流学科）、福祉総合学部（福 祉総合学科・理学療法学科）、薬学部、 メディア学部、観光学部、環境社会学部、 看護学部（8学部10学科） 大学院（6研究科11専攻課程） 留学生別科
千葉県安房 キャンパス	
東京紀尾井町 キャンパス	
教育・研修施設	
	安房ラーニングセンター

これらに加えて、3大学を横断する規模の学術支援、国際交流を行ってきました。その中心となるのが、国際学術文化振興センター（JICPAS）です。大学・大学院のグローバルな研究▽優れた教育・研究に対する支援と補助▽外部資金（科学研究費などの補助金や奨学金）の獲得と開発▽産学共同活動の推進▽学術提携および国際交流の推進▽学術文化活動（講演会、研究会、シンポジウムなど）——を行っています。

■ 研究センター（抜粋）

生命科学 研究センター (城西大学) (城西国際大学)	薬学研究のための生命科学実験を安全、確実に行うための施設です。薬学部の無菌室・感染実験室・動物免疫室などに使われています。
機器分析 センター (城西大学)	化学・薬学・生物学などの研究高度化に対応するため、最先端の分析・測定機器を50種類以上集め、理学部・薬学部の研究・実験に活用されています。
アイソトープ センター (城西大学)	薬物代謝や分析化学の実験・研究に使われている設備や放射線測定器が収められています。
ラジオアイソ トープセンター (城西国際大学)	
イノベーション センター (法人本部)	産学官の連携に関する事業、大学の知的財産に関する事業、地域振興に関連する事業、海外大学との共同事業などへの取り組みを通じて、人材育成や社会貢献を進めています。
生涯教育センター (城西大学)	学部・学科の教育を補完するキャリア形成プログラム、卒業生や社会人の学び直し支援のエクステンション・プログラム、地域市民の学び場を提供するコミュニティカレッジを運営しています。
地域教育医療 福祉センター (城西国際大学)	



高度な知識、技能を持つ職業人の育成

新しい時代に必要の人材の質や能力が変わって
いく中で、大学は若者たちを有用な社会人に育てる
力を持たなければなりません。今こそ大学は、社
会が必要とする人間とその実力とは何かを教育理
念の根底にすえ、それを育てるプログラムを考え抜
かなければならないのです。

キャリア形成支援の教育の3本柱

そこで、JOSAIは、社会に有為な人材の育成
という建学の理念に即して、以下の「教育の3本柱」
を据えています。

1. フィールド教育

社会との接点を持ち、そこで評価される人間を体
感する

2. プロジェクト教育

自ら学ぶことを企画し、具体的な解決策を探り、
実行する

3. 資格取得教育

時代の変化と社会のニーズに的確に応え、将来の
職業に繋がるスペシャリストになる

この3本柱は、学生一人ひとりのキャリアを形成
してゆく支援学習プログラムであり、卒業後の進路
への希望や期待を実現する推進力となるものです。

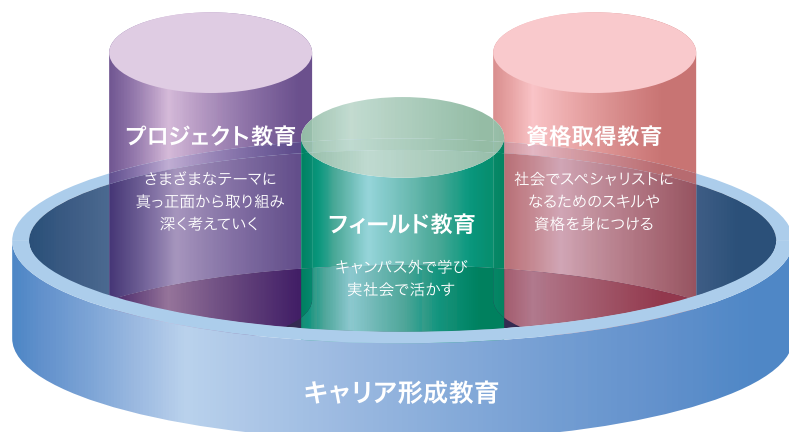
キャリア形成のために1年生の段階から動機付
けを行い、2年生からはゼミや演習などを通じて
具体的な支援を行っています。語学や各種スキル、
資格取得に向けた支援センターなどを配置し、学
生たちが職業人として巣立っていくことに全力を傾
けています。

城西大学では、理学部の「**スチューデント・イン
ターンシップ**」や「**学習支援ボランティア**」、薬学部
の「**城西大学薬局**」といった実践の場を地域との
協力で設けるなど、学内だけでなくフィールドで学
ぶ機会を積極的に作り出しています。

大学院教育では、修士課程、博士課程とも研究
目的を明確にした専攻を設置し、研究者、教員の
育成と専門職業人の育成を目指しています。そのた
め社会人向けのプログラムを充実させているほか、
「**TA(ティーチング・アシスタント) 制度**」を導入し、
大学院生が教員のアシスタントとして学部生への学
習サポートやアドバイスなどを行っています。

JOSAIは、地域に根ざしつつ、広く国際社会
でも活躍できる人材を、地域と海外姉妹・提携校
との共同で育て、専門職業人としての高い知識と
技術、実務能力に加えて豊かな人間力と
社会性を持つ次世代を育てることに全力を
挙げて取り組んでいます。

JOSAIの教育は人材育成の3本の柱





社会人としての基礎力及び実務能力の育成

ベースカレッジとしての短大

JOSAIは、少子化や進学率の増加により専門学校や短期大学の存在意義が問われ、短期大学の4年制化が進む中で、あえて「ベースカレッジ」として男女共学の短期大学を有しています。

その理由は、高等教育への道を4年生大学に集中させて多様性を阻むべきではなく、若者が望む入り口は複数あって然るべきであると考えためです。

社会で必要な基礎知識・実務能力・幅広い教養を2年で身につけたいと考える者への選択余地として、また社会人が基礎学力を習得し直す場として、コミュニティーに根ざしたベースカレッジとしての短期大学の果たす役割は、現在もまた将来も大きいと言えます。

社会へ有用な人材を輩出するという建学の精神に即って、ベースカレッジもまた重要な役割を担っていると言えるのです。

さらに、大学が社会への貢献として学生の質を保証するという考え方からも、城西大学ではミニマムスタンダードという形で進路実現のための基礎的資格目標を設定するなど、大学生活を無駄に過ごさない仕組みを学生に供しています。

社会人教育のプログラム

また、社会人教育のためのプログラムとして、ベースカレッジを経由したグループ2大学への編入・進学を可能にしたり、生涯教育センターによる、全学生と社会人を対象にした、資格取得・スキルアップ・教養・趣味など幅広いフィールドをカバーするエクステンションプログラムを坂戸キャンパスと紀尾井町キャンパスで開

催しています。

城西国際大学では創立当時から地域に開かれたコミュニティーカレッジを開催しており、千葉県各地において公開講座を巡回し、広く地域へ教育を還元しています。

城西大学は、2007年から埼玉県とリカレント教育に関する協定を結び、高齢者や退職した世代を対象に大学の講座を開放しています。

学生が参加しながら、こうしたさまざまな形で、社会に、また地域に教育を還元し、社会人を含めて広く人材育成に貢献するのもまたJOSAIの教育力の現れだと言えます。

また、紀尾井町キャンパスでは、水田記念博物館大石化石ギャラリーを設けています。地球環境や自然科学への知的探求心を育てる様々な教育プログラムを運営するための博物館施設で一般公開しています。大石道夫東京大学名誉教授および中国遼寧省古生物博物館より寄託・寄贈を受けた約200点の実物化石標本と学術標本を保管・展示しています。



水田記念博物館大石化石ギャラリー



東京紀尾井町キャンパス 3号棟正面



東京紀尾井町キャンパス 3号棟裏面

海外姉妹校・学術提携校

サウスウエスト大学 (ブルガリア)
 カレル大学 (チェコ)
 マサリク大学 (チェコ)
 ブラハ経済大学 (チェコ)
 カレリア応用科学大学 (フィンランド)
 リール・カトリック大学 IESEG 校 (フランス)
 リール・カトリック大学 (フランス)
 ブルゴーニュ大学 (フランス)
 パリ・エスト・クレテユ大学 (フランス)
 ケルン大学 (ドイツ)
 ブダペスト商科大学 (ハンガリー)
 ニーレジハーザ大学 (ハンガリー)
 ブダペスト・コルヴィヌス大学 (ハンガリー)
 エトヴェシュ・ローランド大学 (ハンガリー)
 カーロリ・ガーシュパール・カルビン派大学 (ハンガリー)
 センメルヴェイス大学 (ハンガリー)
 セント・イシュトヴァーン大学 (ハンガリー)
 デブレツェン大学 (ハンガリー)
 ペーチ大学 (ハンガリー)
 セゲド大学 (ハンガリー)
 リメリク大学 (アイルランド)
 バジリカータ大学 (イタリア)
 ミコラス・ロメリス大学 (リトアニア)
 ベルゲン大学 (ノルウェー)
 オスロ大学 (ノルウェー)
 ポーランド日本情報工科大学 (ポーランド)
 ウッチ大学 (ポーランド)
 ワルシャワ大学 (ポーランド)
 ワルシャワ経済大学 (ポーランド)
 コメニウス大学 (スロバキア)
 プレショフ大学 (スロバキア)
 ノヴァ・ゴリツァ大学 (スロベニア)
 プリモルスカ大学 (スロベニア)
 バルセロナ自治大学 (スペイン)
 バース・スバ大学 (イギリス)
 エセックス大学 (イギリス)
 ブステマ大学 (ウガンダ)
 カモーン・カレッジ (カナダ)
 セント・メアリーズ大学 (カナダ)
 アルバータ大学 (カナダ)
 プリティッシュ・コロンビア大学 (カナダ)
 カリフォルニア州立大学ロングビーチ校 (アメリカ)
 リバーサイド・コミュニティ・カレッジ (アメリカ)
 スペルマン・カレッジ (アメリカ)
 ニューヨーク州立大学ストーニーブルック校 (アメリカ)

カリフォルニア大学ロサンゼルス校 (アメリカ)
 カリフォルニア大学リバーサイド校 (アメリカ)
 ハワイ大学ヒロ校 (アメリカ)
 ハワイ大学マノア校 (アメリカ)
 カピオラニ・コミュニティ・カレッジ (アメリカ)
 リーワード・コミュニティ・カレッジ (アメリカ)
 テネシー大学 (アメリカ)
 ウェスタン・ミシガン大学 (アメリカ)
 チャールズ・スタート大学 (オーストラリア)
 ジェームス・クック大学 (オーストラリア)
 シドニー工科大学 (オーストラリア)
 ウェスタン・シドニー大学 (オーストラリア)
 北京電影学院 (中国)
 北京外国語大学 (中国)
 北京林業大学 (中国)
 北京師範大学 (中国)
 渤海大学 (中国)
 首都師範大学 (中国)
 長春師範大学 (中国)
 長春光華学院 (中国)
 中国医科大学 (中国)
 中国社会科学院 (中国)
 香港城市大学 (中国)
 東北師範大学人文学院 (中国)
 中国伝媒大学 (中国)
 大連海事大学 (中国)
 大連東軟信息学院 (中国)
 大連工業大学芸術与信息工程学院 (中国)
 大連外国語大学 (中国)
 大連理工大学 (中国)
 東北財經大學 (中国)
 東華理工大学 (中国)
 広東外語外貿大学 (中国)
 広東女子職業技術学院 (中国)
 広州商学院 (中国)
 広州市旅遊商務職業学校 (中国)
 杭州師範大学 (中国)
 黄山職業技術学院 (中国)
 江門職業技術学院 (中国)
 吉林工程技術師範学院 (中国)
 昆明理工大学 (中国)
 鞍山師範学院 (中国)
 遼寧大学 (中国)
 遼寧工業大学 (中国)
 中山大学嶺南 (大学) 学院 (中国)

南開大学濱海学院 (中国)
 寧夏理学院 (中国)
 北方工業大学 (中国)
 東北大学 (中国)
 北京大学 (中国)
 上海對外經貿大学 (中国)
 紹興学院 (中国)
 紹興文理学院 (中国)
 瀋陽師範大学 (中国)
 瀋陽薬科大学 (中国)
 四川理工学院 (中国)
 華南農業大学 (中国)
 華南師範大学 (中国)
 福州大学陽光学院 (中国)
 香港公開大学 (中国)
 天津外国語大学 (中国)
 天津理工大学 (中国)
 浙江旅遊職業学院 (中国)
 北京科技大学 (中国)
 五色大学 (中国)
 西安翻譯学院 (中国)
 西安外国語大学 (中国)
 西安交通大学城市学院 (中国)
 西安文理学院 (中国)
 西安工業大学北方信息工程学院 (中国)
 延辺大学 (中国)
 烟台大学 (煙台大学) (中国)
 宜賓学院 (中国)
 雲南師範大学 (中国)
 雲南大学 (中国)
 雲南民族大学 (中国)
 浙江農林大学 (中国)
 浙江外国語学院 (中国)
 浙江財經大学 (中国)
 浙江伝媒学院 (中国)
 浙江工業大学 (中国)
 富川大学校 (韓国)
 昌原大学校 (韓国)
 東西大学校 (韓国)
 梨花女子大学校 (韓国)
 韓国外国語大学校 (韓国)
 韓南大学校 (韓国)
 漢陽女子大学校 (韓国)
 仁川大学校 (韓国)

建陽大学校 (韓国)
 西江大学校 (韓国)
 水原科学大学 (韓国)
 真理大学 (真理大学) 淡水オックスフォード大学 (台湾)
 逢甲大学 (台湾)
 修平科技大学 (台湾)
 国立高雄餐旅大学 (台湾)
 台北城市科技大学 (台湾)
 淡江大学 (台湾)
 育達商業科技大学 (台湾)
 バンドン工科大学 (インドネシア)
 ペトラ・クリスチャン大学 (インドネシア)
 スラバヤ大学 (インドネシア)
 マネジメント&サイエンス大学 (マレーシア)
 マレーシア・ブルリス大学 (マレーシア)
 マレーシア工科大学 (マレーシア)
 マラ工科大学 (マレーシア)
 トゥンク・アブドゥル・ラーマン大学 (マレーシア)
 ヤンゴン大学 (ミャンマー)
 ヤンゴン外国語大学 (ミャンマー)
 アネオ・デ・マニラ大学 (フィリピン)
 サン・カルロス大学 (フィリピン)
 バンコク大学 (タイ)
 プラバ大学 (タイ)
 チュラロンコン大学 (タイ)
 東アジア大学 (タイ)
 ランシット大学 (タイ)
 北チェンマイ大学 (タイ)
 サイアム大学 (タイ)
 シラパコーン大学 (タイ)
 泰日工業大学 (タイ)
 タクシン大学 (タイ)
 ワライラック大学 (タイ)
 貿易大学 (ベトナム)
 ホーチミン市工業大学 (ベトナム)
 ホーチミン市技術師範大学 (ベトナム)
 ホーチミン市交通大学 (ベトナム)
 ダナン大学 (ベトナム)
 ベトナム国家大学ホーチミン市校 (ベトナム)
 グッドフォード国際大学 (バングラデシュ)
 カトマンズ大学 (ネパール)
 トリバンパン大学 (ネパール)

30カ国・地域176校(2018年5月)

先端的な学際性、国際性を身につけた人材の育成

学部・学科を補完する先進的組織

JOSAIは、1980年代より急速に進展する情報化と国際化の中で、来るべきグローバル化時代には「有為の人材」の質とあり方が変化するという見通しにたって、学部・学科を補完する組織を設立してきました。それが、情報科学研究センターと国際教育センターです。

1. 情報科学研究センター

1968年（昭和43年）の発足以来、情報化の波にいち早く対応し、コンピューターリテラシー教育の導入や学内のユビキタス化の整備などを推進しています。

デジタル式の最新式TVスタジオやリニア編集室など、国内でも屈指の教育・研究環境を誇ります。TV会議システムの導入で、東金、東京紀尾井町、安房および坂戸の各キャンパスを繋いだリアルタイムな双方向遠隔授業と会議が可能です。

2. 国際教育センター

国際教育交流活動のサテライト・センターとして設置され、海外姉妹・提携校と教育提携を結び、交換留学生プログラム、教職員の交流・研修、国際シンポジウムやセミナー開催など多方面に渡る総括的な国際文化交流、教育研究を推進するJOSAIの国際活動の中心です。

充実した国際教育

JOSAIは、海外30カ国・地域、176大学と学術交流協定を結んでいます。語学教育と異文化体験の重要性は、各国からの留学生の受け入れと本学学生の海外姉妹・提携校への留学と研修を伸展させ、留学生別科の設置と、JOSAI独自のJEAP(JOSAI Education Abroad Program: 城西海外教育プログラム)として結実しています。

別科では、学部あるいは大学院に進学を希望す

る留学生や姉妹大学の短期留学生のために1年間の日本文化・日本語の教育を行っています。もちろんこれは留学生のためだけではなく、日本の学生にとってもキャンパス内で異文化体験と語学学習をする機会にもなり、世界や国際社会を考える貴重な体験をすることが出来るのです。

広がる知の地平線

ーグローバルな大学院教育

城西国際大学の「国際アドミニストレーション」は、専門職大学院と研究大学院を包括した新しい時代の人文科学研究科の大学院です。基礎論から就職まで一貫したカリキュラムを揃え、政策研究、国際研究、国際企業研究、国際地域研究、観光研究の5つの専門分野を設け、専門と教養に強い真の国際人の養成を目指しています。英語および日本語で学位取得ができます。

城西国際大学の人文科学研究科には、そのほか女性学専攻などがあり、また経営情報学・福祉総合学・ビジネスデザイン・薬学研究科の大学院があります。

「グローバルな城西」との定評の通り、学校法人城西大学は2010年5月に中国の大連理工大学・大連外国語大学・東北大学の3大学と連携する博士課程を開設しました。城西国際大学大学院人文科学研究科 博士課程、比較文化専攻に「国際日本学コース」を設け、「日本語・日本文学」の国際的な研究拠点となります。

また、城西大学には、経済学・経営学・理学（数学、物質科学）・薬学（薬学、薬科学、医療栄養学）研究科の大学院を設けております。



城西国際大学 安房キャンパス



産学民官の協働により地域に根ざし、貢献する

「地（知）の拠点」への取り組み

JOSAIは、社会と結び付き市民の要望に応え、“地域と共にある”教育機関として成長しています。地域との連携、自治体との連携、企業との連携を果たし、産学民官の協働で、学生を育て、地域に貢献していくためさまざまな取り組みを展開しています。地域課題の解決を通じた教育・研究プログラムを体系化することで、地（知）の拠点（Center of Community=COC）としての機能や教育の質を飛躍的に高めることを目的とした「連携教育・研究推進プロジェクト」に力を入れています。

城西大学では、これまでも「高麗川プロジェクト」「休耕地活用プロジェクト」「特産品を利用した商品開発への協力」「地域図書館とのネットワーク」「スチューデント・インターンシップ」など、さまざまな分野での地域連携に取り組んできました。さらに大学近隣の自治体である坂戸市、毛呂山町、越生町、鶴ヶ島市、日高市との相互連携協力に関する基本協定書に調印してきました。本プロジェクトによって、地域連携をさらに体系的に進めていきます。

城西国際大学は、千葉県と観光分野に関する連携協定を締結し、観光に関するプロジェクトを受託しています。同じく千葉県からの委託事業としての「職業能力開発訓練」、東金商工会議所との連携では、市内の中小企業の経営相談を支援しています。地元鴨川市の観光開発には、観光学部がさまざまなかたちで関わっています。房総半島を横断する嶺岡林道の桜並木を修復・保全する活動と「句碑の道」づくりプロジェクトは、その大きな柱です。

2018年1月には、千葉県一宮町と包括連携協定を締結。一宮町の釣ヶ崎海岸がサーフィンの会場となることから、本学サーフィン部を中心としたスポーツ団体のほか、海外からの訪問者対応や国際交流支援、大会運営ボランティア支援など、多岐にわたる交流が期待されます。

健康づくり、スポーツでも貢献

健康づくりやスポーツを通じた地域・社会貢献活

動にも力を入れています。城西国際大学では、熟年者の体力づくりなどを目的とした「シニア・ウェルネス大学」を千葉県東金キャンパスで開校しているほか、高校生を対象にした柔剣道大会や少年サッカー大会（東金キャンパス）、少年・中学生野球大会（安房キャンパス）も開催し、住民、行政、教育機関、健康関連企業などとの深く広い連携を行っています。

城西大学・城西短期大学では、2005年4月にスポーツを通して社会の健康、福祉を実現するための「スポーツ健康センター」を設置しました。薬学部が目指す「栄養・食生活の適正化を核とした健康づくり構想」と国の施策「21世紀における国民健康づくり運動（健康日本21）」とがあいまった、地域社会との共同事業として「城西健康市民大学」を2006年4月に開設し、地域社会全体の大きな活性化に貢献しています。

産学連携の展開

2007年12月に、株式会社ANA総合研究所と産学連携・協力を進めていく取り組みに合意し、エアライン・物流分野のみならず、ホテル・観光分野から地域振興まで、さまざまな分野で人材育成に関する連携を推進しています。

また、2010年6月には日活株式会社、2011年1月にはエイベックス・プランニング&デベロップメント株式会社、2013年7月には株式会社サンミュージックプロダクションとも提携し、城西国際大学メディア学部で多彩な取り組みを行っています。

さらに2015年7月には、人材育成の推進などを目的に飲食業の吉野家ホールディングスと、2016年4月には、ファッション業界のバロックジャパンリミテッドと提携し、城西国際大学経営情報学部などで取り組みを始めています。

2018年3月、観光学部は館山信用金庫と南房総観光連盟との間で包括的地域連携に関する協定を締結しました。南房総地域の観光・産業の振興及び観光の人材育成をはかることにより、地域経済の発展並びに地域社会の活性化をめざします。



城西大学 水田美術館



多彩なキャンパスで多様な価値観を育む

大学に入学する若者たちにとって大学はどのような場所であってほしいのか。

大学のキャンパスは、学ぶことの先達である教員や、職業人として働く職員、外国人教員など、世代、国籍やジェンダーの異なる多様な大人たちに接し、共に学ぶ場であり、時間でなければならないと考えます。さらに、授業で基礎知識、専門知識を学ぶだけではなく、学生としてフィールドワークやボランティア活動を行い、企業のインターンシップ、自主的に問題解決に取り組むプロジェクトへの参加、望む職業につくための資格の取得などを通して、自己実現に努力し、そのための経験を積む場であってほしいです。

JOSAIは、4つのキャンパスを有していますが、キャンパスの施設デザインやランドスケープデザインは、そこで学ぶ学生の想像力、創造性を刺激し、快適なキャンパスライフを過ごす上で重要な要素であると考えています。

数々の表彰を受けているキャンパス

千葉県東金キャンパスは、日本造園学会より、そのランドスケープデザインに対して「端正な中にも透明感と伸びやかさ」「成長するキャンパス」との評価を受け、平成18年度日本造園学会賞を受賞しました。

同様に埼玉県坂戸キャンパスの清光会館が1992年さいたま景観賞、さらには城西大学の経営学部棟が2008年、城西大学水田美術館が2012年に、米国建築家協会（AIA：American Institute of Architects）より Merit Award を受賞しています。

一般にも開放されている施設

JOSAI安房ラーニングセンターは、千葉県鴨

川市の協力により建設され、セミナー室などの教育施設や宿泊施設、食堂なども完備した教育・研究・研修に利用できる施設で、学内だけでなく一般にも開放されています。

実績を残すスポーツ部活動

スポーツ部活動もキャンパスライフの重要な要素です。主な活躍の状況は次の通りです。

城西大学	
赤羽由紀子選手 (2002年経済学部 経済学科卒)	2008年北京オリンピック 陸上5,000m、10,000m出場
斉藤千聖選手 (2011年医療栄養学 科卒)	第25回ユニバーシアード 陸上ハーフマラソン優勝
佐藤拳太郎選手 (2017年経営学部卒)	2016年リオオリンピック 陸上1,600mリレー代表
硬式野球部	首都大学野球リーグ(1部)で リーグ優勝3回
女子駅伝部	全日本大学女子駅伝で2度優勝 2011年6位入賞シード権獲得
男子駅伝部	東京箱根間往復駅伝競走に2004年 より14回出場 2015・2018年7位入賞シード権獲得
城西国際大学	
サーフィン部	全日本大学サーフィン選手権で 通算27回の団体優勝
サーフィン部 菜花つばさ選手 (2018年国際人文学 部国際交流学科卒)	2015年全日本サーフィン選手権優勝
軟式野球部	全日本大学軟式野球大会で2007年 優勝、2006・2008年準優勝
女子駅伝部	全日本大学女子駅伝で 2005年3位入賞、4回シード権獲得
吹奏楽団	全日本吹奏楽コンクールで 2008年銅賞
硬式野球部	千葉県大学野球リーグ(1部)で 優勝4回
サッカー部	千葉県大学サッカー選手権大会で 2015・2017年優勝・2018年準 優勝



チェコ共和国のボフスラフ・ソボトカ首相に名誉博士号を授与（2017年6月28日）



21 水田三喜男記念館



城西大学新薬学部棟

日本、アジア、そして世界のリーディング・ユニバーシティへ 《7つのJ-Vision》

中期目標の策定と実現

学校法人城西大学は、戦後日本の経済復興期にあって新しい日本経済の礎を築いた政治家かつ教育者である水田三喜男により、1965年に創立されました。以後、「学問による人間形成」という建学の精神に基づき、「社会が発展するために必要とされる人材を育成することによって、人類の福祉に貢献すること」を理念として、城西大学、城西短期大学、城西国際大学において人材の育成と教育の向上に積極的に取り組んできました。卒業生は現在10万人を超え、グローバル社会で必要とされる知性を備え、実社会に貢献できる人材として、国内外のさまざまな分野で活躍しています。

創立50周年の節目を越えた2016年、次の50年を見据えて、これまでの取組みを継承するとともに新たな飛躍の一步を踏み出すための中期目標（2016 - 2020）《7つのJ-Vision》を定めました。

本学は、建学の精神を継承して人間教育や教養教育の充実に引き続き努めるとともに、学生一人ひとりの個性に着目した丁寧できめ細かい教育と、世界の中の日本を明確に位置づけた教育を積極的に展開し、日本そして世界に貢献する人材の育成に努めていきます。

中期目標のコンセプト

中期目標《J-Vision》は、学校法人城西大学がひとつになって歩むべき目標であり、7つのヴィジョンからなる《7つのJ-Vision》で構成されています。

この7つのヴィジョンはお互いに関連し、相乗効果を出しつつ「日本、アジア、そして世界のリーディング・ユニバーシティ」になるというひとつの目標を構成しており、中期目標の最終年度である2020年に夢を実現するという、強い意志が込められています。

リーディング・ユニバーシティをめざすための 中期目標（2016 - 2020）《7つの J-Vision》

1. 豊かな人間性の涵養と社会に有為な人材育成
2. 国際性と日本文化を身につけたグローバル人材の育成
3. 教育力の持続的向上と地域・世界と直結した連携教育の強化
4. 研究力強化とイノベーションの推進
5. キャンパス環境の充実とグローバル化・ネットワーク化
6. 教育、研究、社会貢献のダイナミックな展開を支える経営基盤の確立
7. 発信力強化と社会的存在価値のさらなる向上

文化・スポーツ振興、教育施設の充実

さらなる教育施設の充実と文化・スポーツ振興、国際交流や情報発信の強化をめざし、城西はキャンパスの拡充にも力を注いでいます。

東京紀尾井町キャンパス3号棟竣工

東京紀尾井町キャンパスは、城西大学・城西短期大学の坂戸キャンパスと、城西国際大学の東金・安房キャンパスを結ぶものとして2005年に開設されて以来、都心の中心地にあるキャンパスとして3大学の学生と大学院生が学んでいます。また、就職センターや国際学術文化交流センター、女性センター、生涯教育センターなども設置し、研究、国際交流、就職活動支援など、学生へ幅広い支援を行うとともに、さまざまなシンポジウムや講演会等による情報発信も積極的に行なっています。さらに、2007年にはセミナー施設と宿泊施設の両機能をもつ「2号棟」を同エリアに開設し、キャンパス機能の強化を図ってきました。

そして、本学が取り組む「幅広い教養と深い専門性を持ち、問題解決にあたる国際的な人材育成」のさらなる強化を目指し、紀尾井町キャンパスに3号棟を建設しました。学校法人城西大学が取り組んでいる中期計画の目標達成のためにも、政治や文化、グローバルな情報の中心である紀尾井町エリアでのキャンパス強化となる3号棟建設は、重要なテーマでした。

3号棟は地上5階・地下1階建てで、2013年4月12日に竣工しました。各種教室に加え、5階には国際会議が開け、グローバルな情報発信が可能な会議場を備えたほか、地下1階には化石ギャラリーを設置し、地域の方々などに広く公開していきます。

また、十分な耐震設計を施すと共に発電機等も備え、万が一の災害の際には学生や地域住民の方々の防災拠点としても機能するよう設計されています。

城西大学水田美術館

1979年に創設された城西大学水田美術館が、学校法人城西大学創立45周年記念事業として、独立した建物として新たな装いにて、2011年12月9日に開館しました。

地上2階建て、延べ床面積670m²におよぶ館内にある3つのギャラリーでは今後、本学が所蔵する浮世絵コレクションの公開と共に、大学の紹介やさまざまな企画展、大学のある坂戸や埼玉県など地域ゆかりの文化の紹介など、地域に根ざした様々な情報発信の場としての活動を行っていき、城西大学の教育・研究に貢献していくとともに、地域に愛され喜ばれる美術館になることを目指しています。

PRINCE TAKAMADO MEMORIAL SPORTS PARK (高円宮殿下記念スポーツパーク)

城西国際大学創立20周年記念事業の一環として、公式試合が可能なサッカーグラウンドを備えたスポーツパークが2012年5月22日に完成しました。スポーツ振興や国際交流活動に尽力した高円宮殿下(2002年薨去)のご功績を称え、またそのご遺徳を時代に継承すべく「PRINCE TAKAMADO MEMORIAL SPORTS PARK (高円宮殿下記念スポーツパーク)」と命名されました。

同施設は、千葉東金キャンパスに隣接。約33,000m²の広さを持ち、公式試合が可能なサッカーグラウンドとクラブハウスおよび多目的広場(芝生)などの施設を有しています。またナイター設備や観覧席も設けています。

同施設は、本学サッカー部が利用するほか、青少年の育成など地域のスポーツ振興に生かしていくとともに、スポーツを通しての国際親善・交流活動の拠点としても活用されています。

安定した財務基盤

現状では有利子負債もなく、財務基盤は安定しています。引き続き安定した財務基盤を維持していくために、収益基盤の強化とコスト低減に取り組んでいます。

収入面では、魅力ある学びのプログラム、教育関連設備への積極的な投資、産官学の連携強化等を通じて教育の質の更なる向上を実現し、安定した学納金収入の確保を図ります。また、補助金・寄付金等の外部資金の獲得にも積極的に取り組みます。

コスト面では、良好な水準にある人件費率を適切に管理しつつ、きめ細かい支出管理体制を構築して管理経費の削減に引き続き努めていきます。

2017年度決算の概要

1：全般

2017年度決算は、事業活動収入の合計は、209億円で昨年度（212億円）より3億円の収入減であり、事業活動支出の合計は、206億円で昨年度（188億円）より18億円の支出増でした。したがって、本年度の基本金組入前収支差額は、2億円で、昨年度（23億円）より21億円の減となりました。

（単位：百万円）

	28年度決算	29年度決算	差異
事業活動収入計	21,235	20,884	△351
事業活動支出計	18,849	20,659	1,810
基本金組入前 当年度 収支差額	2,386	225	△2,161

2：事業活動収入

（1）教育活動収入

学納金収入は、学生数の減により、△553百万円（入学金△117百万円、授業料△233百万円他）でした。

（2）特別収入

その他の特別収入（施設設備補助金）は、城西大学21号館関連の研究設備整備費等補助金116百万円の交付受けによるものです。

3：事業活動支出

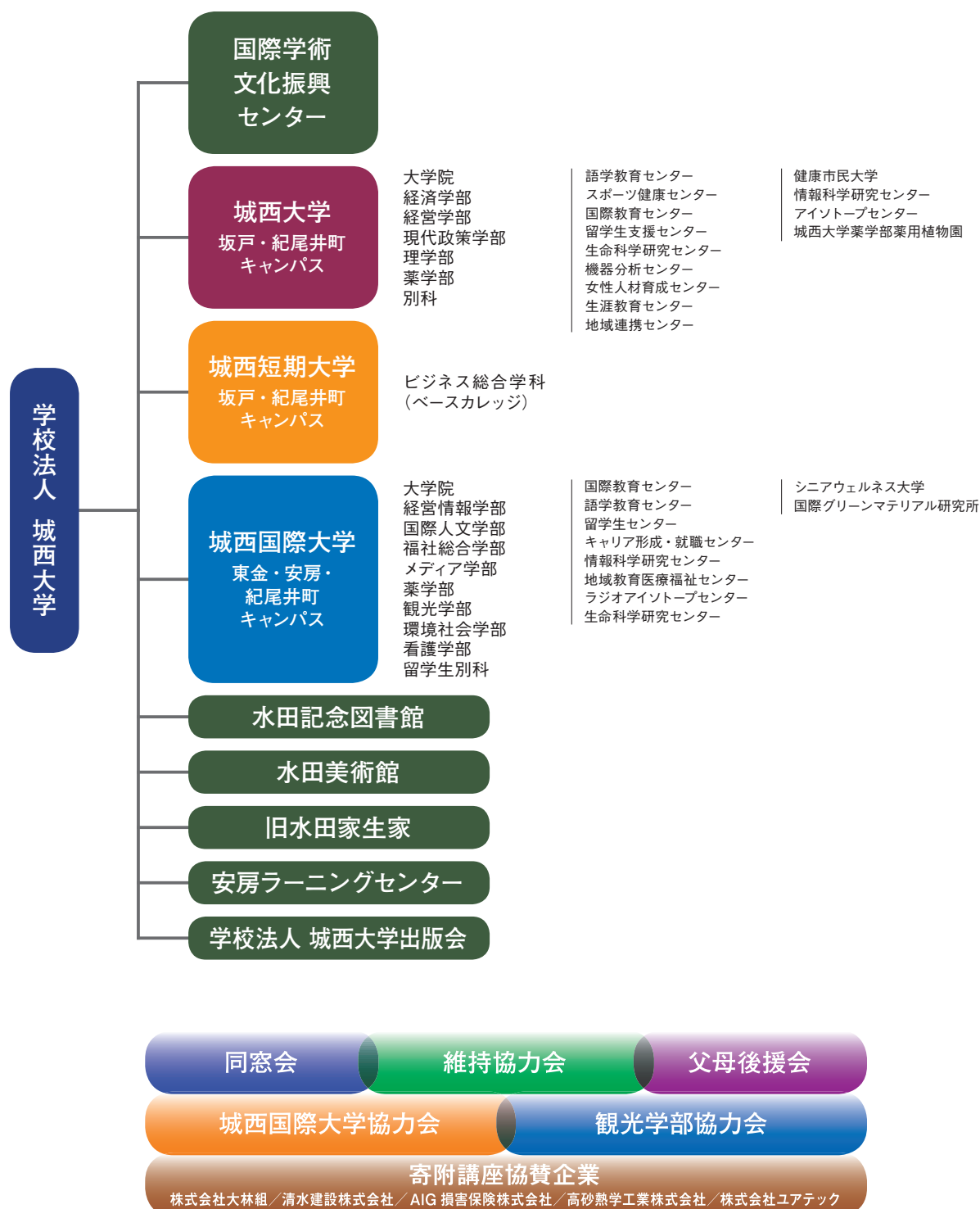
（1）教育活動支出

教育研究経費が1,116百万円の増となっておりますが、これは城西大学6号館等解体に伴う産廃処分費240百万円及び建物解体撤去費312百万円等の増を含みます。

（2）特別支出

資産処分差額の931百万円の増は、城西大学6号館等解体に伴う建物・構築物等の処分差額です。

JOSAI 組織図



JOSAI には、大学としての組織のほかに大学を支援してくださる組織があります。

学校法人城西大学維持協力会

学校法人城西大学では、大学の教育・研究の一層の充実発展を継続的に支援していくための組織として、2007年11月1日に学校法人城西大学維持協力会を発足しました。この組織は、在学生、同窓生、父母（在学生・同窓生）、教職員、地域の方々、企業の方々に問わず誰でも会員になることができ、会員の寄付金は税制上の優遇措置が受けられるものです。

JOSAI の歴史

1965 (昭和40) 01.25	学校法人城西大学設立認可 (水田三喜男初代理事長)
04.01	城西大学開設 経済学部経済学科、理学部数学科・化学科 (水田三喜男初代学長)
1971 (昭和46) 04.01	城西大学経済学部経営学科開設
1973 (昭和48) 04.01	城西大学薬学部薬学科・製薬学科開設
1976 (昭和51) 12.27	水田清子理事長就任
1977 (昭和52) 04.01	城西大学大学院薬学研究科薬学専攻修士課程開設
1978 (昭和53) 04.01	城西大学大学院経済学研究科経済政策専攻修士課程開設
1979 (昭和54) 03.25	城西大学水田美術館開設
04.01	城西大学大学院薬学研究科薬学専攻博士課程開設
1983 (昭和58) 04.01	城西大学女子短期大学部開設 (経営学科経営実務専攻・秘書専攻、文学科日本文学専攻・英米文学専攻)
1985 (昭和60) 04.01	国際文化教育センター設立
1987 (昭和62) 04.01	城西大学女子短期大学部専攻科開設 (日本文学専攻・英米文学専攻)
1989 (平成01) 04.01	城西大学女子短期大学部専攻科開設 (経営実務専攻・秘書専攻)
1990 (平成02) 04.01	城西大学別科開設 (日本文化専修課程・日本語専修課程)
1992 (平成04) 04.01	城西国際大学開設 (経営情報学部経営情報学科、人文学部国際文化学科)
1994 (平成06) 04.01	城西大学水田宗子学長就任
1996 (平成08) 04.01	城西国際大学水田宗子学長就任
	城西国際大学人文学部福祉文化学科・国際交流学科開設
	城西国際大学大学院人文科学研究科国際文化専攻・女性学専攻修士課程開設
1998 (平成10) 04.01	城西国際大学大学院人文科学研究科比較文化専攻博士後期課程、大学院経営情報学研究科起業マネジメント専攻修士課程、留学生別科日本文化専修課程・日本語専修課程開設
	城西大学大学院理学研究科数学専攻修士課程、大学院薬学研究科医療薬学専攻修士課程開設
1999 (平成11) 04.01	城西国際大学経営情報学部国際経営学科・福祉環境情報学科開設
2000 (平成12) 04.01	城西国際大学大学院経営情報学研究科起業マネジメント専攻博士後期課程開設
2001 (平成13) 04.01	城西国際大学経営情報学部サービス経営システム学科、人文学部メディア文化学科、留学生別科ビジネス・情報専修課程、城西大学薬学部医療栄養学科開設
	城西大学女子短期大学部経営情報実務学科・現代文化学科開設 (改組)
2002 (平成14) 04.01	城西国際大学大学院人文科学研究科福祉社会専攻修士課程、国際アドミニストレーション専攻修士課程開設
2003 (平成15) 01.25	創立40周年記念事業水田家生家修復修了・竣工式
04.01	城西大学経営学研究科ビジネスイノベーション専攻修士課程開設
2004 (平成16) 04.01	城西大学経営学部マネジメント総合学科開設
	城西大学大学院理学研究科物質科学専攻修士課程開設
	城西国際大学薬学部医療薬学科、福祉総合学部福祉文化学科・福祉経営学科開設
04.10	学校法人城西大学 鋸南セミナーハウス竣工
04.19	学校法人城西大学 JOSAI 安房ラーニングセンター竣工
05.27	学校法人城西大学水田宗子理事長就任
2005 (平成17) 01.21	学校法人城西大学東京紀尾井町キャンパス竣工
04.01	国際学術文化振興センター設立
	城西大学大学院薬学研究科医療栄養学専攻修士課程開設
	城西国際大学経営情報学部総合経営学科改組
	城西国際大学メディア学部メディア情報学科開設
	城西国際大学大学院ビジネスデザイン研究科ビジネスデザイン専攻、大学院福祉総合学研究科福祉社会専攻開設
04.19	学校法人城西大学 城西国際大学薬草園開設 (大多喜町薬草園)
2006 (平成18) 04.01	城西大学現代政策学部社会経済システム学科開設
	城西大学薬学部薬学科 (6年制)、薬学部薬学科 (4年制) 開設
	城西短期大学ビジネス総合学科開設
	城西国際大学観光学部ウェルネスツーリズム学科開設
	城西国際大学薬学部医療薬学科 (6年制) 開設
2007 (平成19) 04.01	城西国際大学福祉総合学部福祉総合学科改組
10.25	学校法人城西大学東京紀尾井町キャンパス2号棟開設
2008 (平成20) 02.15	幕張キャンパス開設
04.01	城西国際大学国際人文学部国際文化学科・国際交流学科開設
2009 (平成21) 06.30	環境社会学部環境社会学科設置届出書提出
2010 (平成22) 04.01	城西国際大学環境社会学部環境社会学科開設
04.16	学校法人城西大学創立45周年記念式典
2011 (平成23) 04.01	城西国際大学メディア学部「映像芸術コース」開設
04.	学校法人城西大学東京紀尾井町キャンパス4号棟開設
07.22	学校法人城西大学イノベーションセンター設立
10.	学校法人城西大学大学院センター設立
12.09	城西大学水田美術館 (建物) 開設
2012 (平成24) 04.01	城西大学大学院薬学研究科薬科学専攻 (博士後期課程)、薬学専攻 (博士課程) 開設
	城西国際大学大学院薬学研究科医療薬学専攻 (博士課程) 開設
	城西国際大学看護学部看護学科開設
04.28	城西国際大学創立20周年記念式典
05.22	城西国際大学「PRINCE TAKAMADO MEMORIAL SPORTS PARK (高円宮殿下記念スポーツパーク)」完成
2013 (平成25) 04.01	城西国際大学大学院国際アドミニストレーション研究科国際アドミニストレーション専攻、人文科学研究科グローバルコミュニケーション専攻開設
04.12	学校法人城西大学東京紀尾井町キャンパス3号棟開設
2015 (平成27) 02.12	学校法人城西大学キャンパス5号棟開設
10.31	学校法人城西大学創立50周年記念式典
2016 (平成28) 04.01	城西国際大学福祉総合学部理学療法学科開設
2017 (平成29) 03.28	城西大学水田三喜男記念館と新薬学部棟竣工
2017 (平成29) 09.11	学校法人城西大学上原明理事長就任

発行：2018年7月

学校法人 城西大学

URL. <http://www.josai.jp/>

東京紀尾井町キャンパス

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町3-26

TEL. 03-6238-1300

城西大学

城西短期大学

URL. <http://www.josai.ac.jp/>

坂戸キャンパス

〒350-0295 埼玉県坂戸市けやき台1-1

TEL. 049-286-2233

城西国際大学

URL. <http://www.jiu.ac.jp/>

千葉東金キャンパス

〒283-8555 千葉県東金市求名1番地

TEL. 0475-55-8800

安房キャンパス

〒299-2862 千葉県鴨川市大海1717

TEL. 04-7098-2800